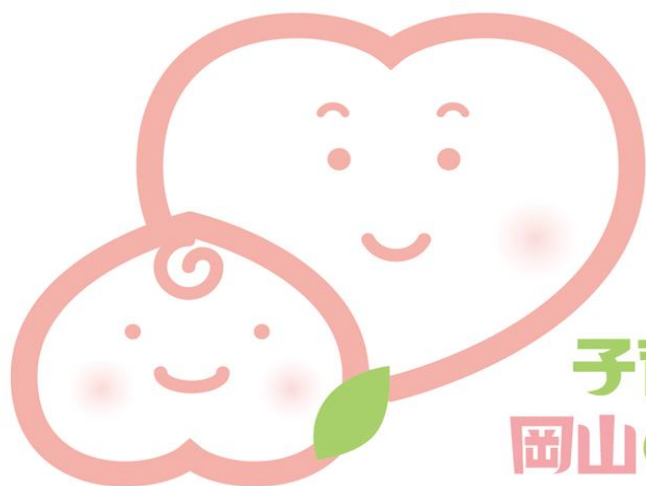


おかやま 子育て応援宣言企業

岡山県知事賞贈呈式



子育て支援は
岡山の未来づくり!

	ページ
1 「おかやま子育て応援宣言企業」表彰 実施要領	1
2 岡山県知事賞を贈呈する企業等の紹介	
○学校法人 美作学園	2
○株式会社 岡山村田製作所	4
○丸五ゴム工業株式会社	6

平成26年2月18日

岡 山 県

「おかやま子育て応援宣言企業」表彰実施要領

1 趣旨

「おかやま子育て応援宣言企業」として登録した企業・事業所(以下、「企業等」という。)のうち、独自性、先進性のある取組内容を宣言するとともに、その実現に向けて特に積極的に取り組み、他の模範となる優れた成果があった企業等に岡山県知事賞を授与し、その取組を広く紹介することにより、「おかやま子育て応援宣言企業」への県民の関心を高め、社会全体で子育てを支え合う環境づくりの一層の推進に資する。

2 表彰の対象

表彰の対象は、表彰年度の12月15日までに登録した企業等とする。ただし、既に表彰した企業等は除く。

3 表彰の種類

表彰の種類は、岡山県知事賞とする。

4 表彰の基準

表彰の基準は、次のとおりとする。

- (1) 独自性、先進性のある優れた取組内容を宣言していること。
- (2) 宣言内容の実現に向けて積極的な取組を推進し、他の模範となる優れた成果があったこと。
- (3) 過去3年間に関係法令に係る重大な違反がないこと。その他、社会通念上表彰するにふさわしくないと判断される問題を起こしていないこと。

5 選考

別に定める委員により構成する選考委員会において選考し、表彰する。

6 表彰の手続

表彰の手続は、岡山県表彰規程(昭和24年岡山県規則第2号)に定めるところにより行う。

7 表彰

表彰は、表彰状及び金品を授与して行う。

附 則

この要領は、平成20年12月18日から施行する。

贈呈する企業等の紹介

1 企業等の概要

企業等の 名称	学校法人 美作学園				
代表者 職・氏名	理事長 藤原 修己				
所在地	津山市	事業内容	教育	従業員数	216 人



※登録番号 22062

2 子育て応援宣言

- 育児休業を取得しやすい学内環境を整えるため、社内研修を行います。
- 育児休業中の代替職員を確保し、育児休業を取得しやすくします。
- 2年間で男性の育児休業取得者が1人以上できるよう目指します。

3 取組状況

『親塾公開講座』を開講したり、また、学生が『親子エコフェスタ』等の子育てプロジェクトに積極的に参加し、地域の親子との交流を深め、子育て支援を行っている。

教員が育児休業中には代替教員を確保し、育児休業を取得しやすい環境を整備している。

○ 育児休業の取得促進

教員が育児休業中には代替教員を確保し、取得者が育児休業中に子育てに専念できるよう配慮している。

また、男性の育休取得対象者に取得奨励の呼びかけを行っている。

○ 『親塾公開講座』の開講

附属幼稚園において、小さなお子さんを持つ保護者向けに大学・短大の教職員による親子の関わりあいや子どもの心理、教育方法、栄養教育等の講座を参加費無料で開講した。

【参加者数】 第1回→32名
第2回→25名
第3回→26名
第4回→29名



(写真) 『親塾公開講座』の様子

○ 『親子エコフェスタ』への参加

大学・短大の学生を中心に地域の商店街周辺で開催する『親子エコフェスタ』に参加している。さまざまなエコ体験を通して、地球温暖化防止や、環境保全の大切さを呼びかけた。

○ 『みまさか子育てカレッジ』の開催

乳幼児の親子と大学生が一緒に交流する『みまさか子育てカレッジ』を大学で開催している。



(写真) 『みまさか子育てカレッジ』の様

○ その他の取組状況

『つやま子ども野外塾』、『美（みま）きゃんぷ』、『JAつやまちゃぐりんフェスタ』、『津山・宮古島・被災地の小学生の交流をサポートin宮古島』、『ソフトボール教室』などのプロジェクトに学生が積極的に参加し、地域の親子との交流を深め、子育て支援をしている。

贈呈する企業等の紹介

1 企業等の概要

企業等の名称	株式会社 岡山村田製作所				
代表者職・氏名	代表取締役社長 中島 規巨				
所在地	瀬戸内市	事業内容	製造業	従業員数	1452 人



※登録番号 24013

2 子育て応援宣言

- 家庭生活と職業生活の両立を支援するため、毎週水曜日と金曜日をリフレッシュデー（ノー残業デー）とします。
- 子が小学校に就学するまでの間は短時間勤務を認め、従業員の育児をサポートします。
- 子供たちの理科離れを防ぐため、小学校への出前授業に積極的に取り組みます。

3 取組状況

短時間勤務制度など従業員の育児をサポートする環境を整備している。
週2日のリフレッシュデーを設けている
子供たちの理科離れを防ぐため、小学校へ出前講座を実施している。

○ 仕事と家庭の両立支援

毎週水曜日と金曜日をリフレッシュデー（ノー残業デー）とし、実施できなかった場合も、別の曜日に振り替えて対応している。

○ 短時間勤務の充実

満3歳に達するまでの子を養育する場合は、1日120分、満3歳に到達後、小学校就学前までの子を養育する場合は、1日60分を限度に勤務時間を短縮できる。

○ 出前講座の実施

子供たちの理科離れを防ぐため、平成25年度は県内7つの小学校で出前授業を実施した。



(写真) 『出前講座』の様子

○ その他の取組状況

- ・ 従業員の育児休業・出産休暇の制度化
- ・ 法定規律を上回る育児休業制度の制度化（①生後満1歳到達後、最初に迎える3月末まで、②生後満1歳6ヶ月に到達する日、のいずれか遅い日ま
- ・ 時間単位有休制度（年間8時間。有休は別途付与）
- ・ 【育児休業取得者数】
平成23年度→18人
平成24年度→24人
平成25年度→23人



(写真) 子どもを持つ母親との交流会の様子

贈呈する企業等の紹介

1 企業等の概要

企業等の 名称	丸五ゴム工業株式会社				
代表者 職・氏名	代表取締役 藤木 達夫				
所在地	倉敷市	事業内容	製造業	従業員数	928 人



※登録番号 24015

2 子育て応援宣言

- 出産費用面での負担軽減を図るとともに、第二子以降の出産を奨励することを目的として、子女出生のとき、第一子は5万円、第二子以降は10万円の出産奨励金を支給します。
- 従業員が仕事と家庭の両立が出来るように、時間外勤務の削減に努めます。
- 中学生のチャレンジ14、高校生・大学生向けのインターンシップなどを積極的に受け入れて実施します。

3 取組状況

出産奨励金を支給することで、第二子以降の出産を奨励している。
ノー残業デーを設定し、時間外勤務の削減に努めている。
中学生・高校生・大学生向けのチャレンジ14やインターンシップを受け入れ、地域の子育て支援を行っている。

○ 第二子以降の出産の奨励

子女出生時、第一子は5万円、第二子以降は10万円を支給している。

【支給実績】

平成23年度→15名

平成24年度→14名

平成25年度→10名

○ 時間外勤務の削減

稼働カレンダーで、毎月第2・第4金曜日をノー残業デーに指定し、残業時間の削減啓蒙活動を行っています。

○ チャレンジ14やインターンシップの積極的な受入

平成25年度に中学校5校より15名、高等学校7校より10名、大学生を7名受け入れた。



(写真) チャレンジ14の様子



(写真) 大学生のインターンシップの様子

○ その他の取組状況

- ・ 育児休業から復帰する時、相談に応じて時間短縮の時間を個別に設定し、柔軟な運用を行っている。
- ・ 【育児休業取得者数】
平成23年度→4人
平成24年度→2人
平成25年度→2人